

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第5回三和区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）諮問事項（公開）

- ・新市建設計画の変更について

### （2）報告事項（公開）

- ・上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について（通知）
- ・「（仮称）地域独自の予算」の概要（案）について
- ・NPO法人三和区振興会と三和区地域協議会との意見交換会について

### （3）協議事項（公開）

- ・地域活性化の方向性について

### （4）その他（公開）

- ・三和区地域福祉活動計画について（上越市社会福祉協議会三和支所）

## 3 開催日時

令和4年9月5日（月）午後6時30分から午後7時56分まで

## 4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

4人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：池田輝幸、江口晃、小山田幸雄、金井茂康、小林則子、高橋鉄雄、富村広文、  
星野幸雄、松井隆夫、松栄由里、宮澤克己、森由美

（14人中12人出席）

- ・三和区地域福祉活動計画策定委員会：山口委員長
- ・上越市社会福祉協議会三和支所：松内支所長
- ・事務局：三和区総合事務所 金子所長、岩崎次長、丸田市民生活・福祉グループ兼教

## 8 発言の内容（要旨）

### 【岩崎次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める

### 【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認を10番の松栄由里委員に依頼

次第順では、「諮問事項」になるが、本日は、三和区地域福祉活動計画の説明に社会福祉協議会の方々に来られているので、最初に、6 その他（1）三和区地域福祉活動計画について説明を受けたいと思う。

### 【三和区地域福祉活動計画策定委員会 山口委員長】

社会福祉協議会が作成した上越市地域福祉活動計画に基づき、三和バージョンの三和区地域福祉活動計画を作成したので、説明させていただく。

この計画は、三和区の22団体の責任者の方々、小・中学校、三和区の市民の皆さん方のアンケート調査、あるいは地域懇談会を通してまとめたものである。

- ・資料No.6の資料No.4により説明

### 【高橋会長】

ただ今の説明について、質問等を求める。

### 【松井委員】

地域懇談会というのは、どういう形で実施したのか。

### 【三和区地域福祉活動計画策定委員会 山口委員長】

小・中学校あるいはPTAなどいろいろな方から集まっていたいただければよかったのだが、コロナ禍のため、基本的には参加された22の団体の方々に、いろいろなアンケート調査等を基にワークショップをさせていただいた。

### 【松栄委員】

計画書を見ると、地域協議会が1年かけて考えてきたまちづくりのモデル、ただそこに福祉が付いたというだけで、内容はほとんど包括しているような感じであり、これは

三和のまちづくりそのものだと思う。

これからいろいろな団体の方と連携して実施していくと思うが、今後の見通しを教えてください。

**【三和区地域福祉活動計画策定委員会 山口委員長】**

基本的には地域福祉なので、三和区にお住まいの方々の福祉を中心に考えていく計画である。上越市の総合計画の中で、福祉部門においては地域福祉計画という上位計画があり、それが基本になっているので、それに基づいて三和区に合った計画を入れた。ただ、言われるように、福祉だけで収まらない。

今後については、今は基本構想なので、その構想に基づいて30を超える各団体の皆さんに声掛けし、寄っていただいて、それぞれの団体が今やっている事業は何があるのか、これからやりたい事業は何があるのかということをして全て拾い上げ、意見討論し、2026年までの中期的な計画の中に配分し、どこまでできるかということだと思う。

ただ、皆さんが思っている一番大きい疑問は、お金をどうするかということだと思うが、そこはこれからの話である。

今現在とはとにかく何ができるか、何を求めているかということを進めていきたいと思っている。

**【松井委員】**

三和区全体を網羅した形なので、主体的にどういうように運営されるか、お金の問題は私たち住民がどう協力していくかという問題もあるでしょうし、是非頑張ってください。要望である。

**【森委員】**

今、社会福祉協議会の中で、これだけ具体的にいろいろなものが上がって、それをこれから具体的にさらに活動していこうとしているのは分かるが、地域協議会の中でもほぼ同じ活動をしており、多分、他団体でも皆さんで集まると、また同じことが出てくるのではないかと思う。それをみんな一緒になってやることはできないのか。

**【三和区地域福祉活動計画策定委員会 山口委員長】**

計画というのは、基本は上位計画の上越市の総合計画である。総合計画というのはご存知のとおり、農業もあれば建設や福祉などいろいろなものがある。その中で上越市社会福祉協議会が受けているのは地域福祉の部門である。ただ、地域福祉というのは福祉だけではない。地域全体で福祉をどうするかということは、いわゆるまちづくり、三和区

づくりになると思う。

そこをどうするかということであるが、地域協議会の会長さんも22団体の1人で、今後30数団体の皆さん、会長さん方から集まっていたくわけだが、その中でどこまで地域福祉計画が作れるかということだと思う。

ただ、総合計画ではないということだけは確認させていただきたい。

**【高橋会長】**

私の反省として、私たち地域協議会がもう少し積極的に、団体を含めて、交流あるいは課題に真正面から取り組んで行かなければならなかったのではないかという感じを受けている。

新たな市の独自予算にも関わってくると思うが、森委員の懸念を払拭するためにも、垣根を取っ払い積極的に交流、意見交換、解決、その方向を目指していかなければならないと思っている。

**【高橋会長】**

他に質疑等あるか。

(質疑等なし)

**【高橋会長】**

なければ、以上で、その他の三和区地域福祉活動計画について、を終了する。

(三和区地域福祉活動計画策定委員会、上越市社会福祉協議会三和支所 退室)

**【高橋会長】**

それでは、3 諮問事項に戻り、次第に沿って進める。(1) 新市建設計画の変更について、事務局の説明を求める。

**【金子所長】**

・資料No.1により説明

**【高橋会長】**

ただ今の説明について、質問等を求める。

(質疑等なし)

**【高橋会長】**

(1) 新市建設計画の変更について、地域住民の生活に支障なし又は支障あり、いずれかに決定する。

地域住民の生活に支障なしと認める方は、挙手願う。

(議長除く 11 人挙手)

【高橋会長】

挙手多数により、支障なしと認める。

【高橋会長】

4 報告事項に入る。(1) 上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について(通知)、事務局の説明を求める。

【金子所長】

- ・資料No.2 により説明
- ・文教経済常任委員会資料「財産の減額譲渡について」の(2) 譲渡の条件の中に、地域協議会が答申に付した附帯意見が記載されていることを説明。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問等を求める。

【松井委員】

質問ではなく確認である。地下に残っているジオラマなどの教育・文化的なものの活用や処分の方法等について検討するとしていたが、その件はどうなっているのか。

【岩崎次長】

今の件は、米本陣の廃止とはまた違う話である。残された備品類は米本陣ではなく、まだ市の施設である米と酒の謎蔵の地下に保管されている状態である。活用については具体的には決まっていない。

【高橋会長】

他に質疑等あるか。

(質疑等なし)

【高橋会長】

なければ、以上で報告事項(1) 上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について(通知)、を終了する。

【高橋会長】

次、(2)「(仮称) 地域独自の予算」の概要(案)について、事務局の説明を求める。

【金子所長】

- ・資料No.3 により説明

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問等を求める。

**【小山田委員】**

従来の地域活動支援事業の中でも、継続して団体が提案できるということで、私自身は非常にそういう意味では救ってもらえる制度になっている気がする。

ただ、地域協議会だとか、他団体を巻き込んだ大きな形の提案みたいなものは、おそらく令和5年度に向けては、私も無理だろうと思う。

少なくとも令和5年度予算で、従来細々とやっていた、地域の活動みたいなものが救われる方向になっているということで、それは楽しみにしている。

**【松井委員】**

2点お聞きする。申請の内容がハードだけでは無理だと思うが、ソフトとハードの観点から金額的なチェックをするのかどうか。もう1点は、関係団体に地域独自の予算を説明した際に、審査基準の中で一定の視点を持って考えたい旨の発言があったが、申請をチェックする段階で、視点という意味合いについては公表するのか。

**【金子所長】**

ハード、ソフトの金額面はちょっと答えづらいが、少なくとも地域独自の予算は、単なるハードや物品を買うだけでは駄目だという意見が出ているので、その割合がどうかという話だと思うが、そういうのはまだ決まっていない。内容を見て、必要なハードが大きくても、それに確実なソフトが備わっていれば可能かとは思いますが、当然予算の許す限りなので、三和で何億もの事業を出して通るかと言われたら、それはないと思う。

2点目について、今皆さんがお考えの三和区の地域活性化の方向性も一つの視点として見ていきたいと考えているが、当然それになくても、対象とする取組の①、②に沿うような提案であれば、我々としては予算要求をしていかななくてはならないと思っている。

ただ、説明会で皆さんにも言ったのだが、やはりそれなりのご提案をいただかないと我々もなかなか予算化しづらい。しっかりと予算査定できる内容のものを一緒に作っていきたいと思っている。

**【星野委員】**

8月29日に実施した「(仮称) 地域独自の予算」説明会の概要と他団体からどんな意見が出たのか聞きたい。

地域協議会で検討してきたような意見や重複の部分もあるだろうし、一緒にできるところはあるのか、その辺をどのようにお考えなのか聞かせてほしい。

### 【金子所長】

8月29日の説明会の対象は、令和元年度から令和4年度までに地域活動支援事業を利用した団体であり、その事業の継続が前提のため、今までと同じような形で出していると思われていたようだが、もう少し精度を上げ、真剣に出していただきたい旨の話をした。

皆さんの疑問点は、今後どのように地域独自の予算を利用していかうかというよりも、今までやってきた地域活動支援事業をいかに継続できるかというような形の質問が多かったように思う。

地域活動支援事業が発展しての可能性もあるが、新しい活動に関しては、令和5年度は難しいかなというのが今の私の感想である。

他の地区では、地域協議会と他の団体が、既に事業を練っているところもあると聞いているが、まだ三和区地域協議会では、そういう形での事業提案の段階には少し難しいと感じている。

### 【岩崎次長】

- ・資料No.3 参考資料により説明
- ・これまでの地域活動支援事業は団体の活動に補助金で支援するものだったが、地域独自の予算は補助金ありきではなく、市が実施する場合もある。

### 【松井委員】

令和8年度までに段階的に上限を10分の7に見直すというが、これは来年度以降年次的に10分の9、その次は10分の8、最後は10分の7という捉え方でいいのか。自己資金を持たないと今後やれなくなる。自己資金を持たないと事業計画が立てられないということも考えなければならない。

### 【金子所長】

今後継続していかうという場合には、当然、自己資金を予定してくださいという意味である。毎年10分の1ずつ下げていくので、今、地域活動支援事業100%で活動している団体は、10分の7しか補助金が出なくなるので、10分の3はどこか自分で探してくることをお願いしたいということである。

### 【星野委員】

我々地域協議会でも今までいろいろなことを審議してきた。地域協議会自身が主体となり、それを実施することは多分できないと思うが、それを他団体に実施してもらうの

か、それとも、地域協議会がそのシステムを上手に使う、作るようなことを行うのか、地域協議会の立場が見えてきてない。

**【金子所長】**

区内にそういうことを行える団体があるならば、地域協議会とその団体が話し合っ  
てやっていくという部分もあると思う。

今までの地域活動支援事業では、団体が行う事業を地域協議会は審査するだけだ  
ったが、地域協議会が他団体と協力しながら行う事業を発案し、総合事務所と一  
緒に計画を作り予算要求していく部分もあり得ると思っている。

**【高橋会長】**

各種団体との連携が基本だが、連携を求めないで地域協議会と総合事務所で提  
案することも可能だということである。団体と必ず連携を取らなければいけない  
ということでは私はないと思っている。内容によっては市がやるべきということで  
、実施することもあると私は思っているが、所長、間違いないか。

**【金子所長】**

本来、市ではなく団体がやるべき内容について、どこもやるところがないから市  
が行うということは、私はないと思っている。当然、発案していただいて、それが  
市でやるべき事業であれば市がやるし、区内の団体でやっていただければ、そ  
こにお願いしながら一緒にやっていくという立場が地域協議会である。単なる提  
案だけではなくて、発案して事業化も考えることを地域協議会ができるように  
なったとお考えいただければと思う。

**【松井委員】**

会長が言われた件で、地域協議会として委員それを発案して全部やるというこ  
とは不可能だと思う。地域協議会が考え、アドバイスした状況の中で、地域協  
議会委員ということではなくて、地域協議会の中から5人でも10人でもいい  
が、受け手としてそれをやるというものを我々が育てていかなければならな  
いと思っている。地域協議会委員の中で、私どもがそれをやりましょうとい  
う形であればいいが、三和区地域協議会がその実施母体としてやるというこ  
とは、ちょっと違うのではないか。

**【金子所長】**

いろいろなやり方があるので、それも一つの手かとは思っている。別に団体があ  
ればやるし、市がやるべき事業提案的なものも可能だと思っている。

【高橋会長】

「(仮称) 地域独自予算」の概要(案)の4ページの①に「地域の団体や地域協議会は、希望に応じて、総合事務所等に取り組を提案します。」と記載されており、②で3つの方法が記載されている。

地域協議会は縛られたものではないと思うので、地域協議会として提案することは十分可能だと思う。

【高橋会長】

他に質疑等あるか。

(質疑等なし)

【高橋会長】

なければ、以上で、報告事項(2)「(仮称) 地域独自の予算」の概要(案)について、を終了する。

【高橋会長】

次、(3) NPO 法人三和区振興会と三和区地域協議会との意見交換会について、小林副会長から報告する。

【小林副会長】

- ・資料No.4により説明
- ・地域協議会から池田委員が出席予定であったが、都合がつかなくなり、急遽、宮澤委員が出席した。
- ・振興会から地域協議会が提出した資料「三和区の地域活性化に向けて(案)」の構成要素①から⑤の項目中、①の「谷内池周辺の環境整備と情報発信」だけが具体的な表現となっていて、他の4項目と少しが異なるのではないかと意見があった。
- ・初めての意見交換会だったが今後も続けていけるといいと思っている。全員出席ではなかったが有意義な意見交換だった。

【高橋会長】

振興会の皆さんが限られた財源の中でサービスに努めていると思った。だからこそ、我々地域協議会も協力しながらより良い活動ができるように連携を取らなければならないと思う。

また、振興会の理事長から、「さんわまつり実行委員会の規則を大幅に変えながら進めていきたい」「理事会等の構成も徐々に変えていきたい」「意見交換会は今回が最後では

ない」といった大変前向きな発言をいただいた。江口副理事長も「若い人が振り向いてくれるような振興会にしたい」と発言していた。大変有意義な会だった。

この件について、意見等あるか。

**【松井委員】**

地域協議会も具体的な内容を把握しない面が見受けられる感じがする。

個人的な主観だが、振興会は新しいことに組織として取り組めない硬直した考えで意見を述べているのではないかという気がする。全体的にもっと前向きに振興会から頑張ってもらいたいと思う。次回意見交換会を開催する場合、同じ方法ではよくないと思う。お互いの立場の中で、持ち得ているものを出し合い、形にこだわることなく、意見交換する必要がある。

**【高橋会長】**

他に意見等あるか。

(意見等なし)

**【高橋会長】**

なければ、以上で、報告事項（3）NPO 法人三和区振興会と三和区地域協議会との意見交換会について、を終了する。

**【高橋会長】**

5 協議事項（1）地域活性化の方向性について、に入る。

- ・資料No.5により説明
- ・振興会との意見交換を踏まえた修正案の協議

**【岩崎次長】**

- ・資料No.5によりの補足説明
- ・構成要素①「谷内池周辺の環境整備と情報発信」だけが、他の項目に比べて具体的な表現となっているとの振興会の意見を踏まえた修正案。②は①のレベルとあわせたもの。

**【高橋会長】**

意見等はあるか。

(なしの声)

**【高橋会長】**

それでは、この修正案を基に今後進めたいと思う。

**【高橋会長】**

6 その他に入る。小林副会長から発言の申出がある。

**【小林副会長】**

NPO 法人三和区振興会の理事会が8月30日にあったので、報告をさせていただく。

審議事項は、さんわ体育祭とさんわ駅伝大会の中止についてと三和区敬老会についてであった。

各部会で審議した結果、今のコロナ禍の状況では、実施できないのではないかとといった意見が多かったことから、理事会で中止について承認するといった形であった。

さんわ体育祭とさんわ駅伝大会は中止、三和区敬老会についても中止ということであるが、対象者全員に記念品としてガーゼの手ぬぐいと800円の商品券を配布することで決定した。

三和文化祭について、福祉部会で展示と体験会を行うということになったが、せっかくの機会なので、地域活動支援事業で採択された団体からも、何か資料等があれば展示してもらったらどうかと提案させてもらった。私の関わっている「三和ふれあい食堂」で、大洋紙1枚くらいは展示したいと思っている。

**【松井委員】**

100kmマラソンが実施される中で、さんわ駅伝大会がどこまで議論されたのか分かる範囲で教えてほしい。

**【小林副会長】**

細かいことは各専門部会で議論されているため、理事会の席ではそういった細かい話はなかった。

**【高橋会長】**

ほかに事務局、委員から何かあるか。

(なし)

**【高橋会長】**

次回の開催日について決定する。

**【岩崎次長】**

- ・第1候補10月14日(金)、第2候補10月13日(木)、開会時間は、午後6時30分

**【高橋会長】**

- ・日程調整

- ・10月14日（金）、午後6時30分から決定  
以上で、本日の地域協議会を終了する。

【小林副会長】

- ・挨拶
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-532-2323（内線 215）

E-mail：sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。